

地域を越えた歴史文化の視点

## 35. 赤穂のむかしばなし

### 【ストーリー】

市内各地に残る民話や伝承。これらは文字に記録されることなく、口伝えの物語として赤穂の人々の心に残されてきた。

つくられた時代がいつなのかはわからないが、内容は人々にとって理解を越えるもの、日常生活の教訓めいたもの、また身近な歴史を偉人と結び

つけたものなど、さまざまなものがある。

私たちは、こうした民話・伝承を通じて、当時の人々の生活や思考に思いをはせるとともに、今もその場に立つことによって、赤穂の歴史的蓄積に触れることができる。



地蔵立像板碑（はえぬき地蔵）



小鷹観音堂（小鷹の観音さま）



不動山石仏（おけじゃ山）



周世坂峠地蔵（ととまの地蔵・枯れ尾花）



げんじょの岩（お伊勢まいり）



小倉御前の墓（小倉御前の墓）



鳥井坂の道標  
（二人の旦那はん）



唐船山（謎を秘める島）



龍神宮（大蛇と入電池）



清水地蔵（首より上の病をなおす地蔵さん）



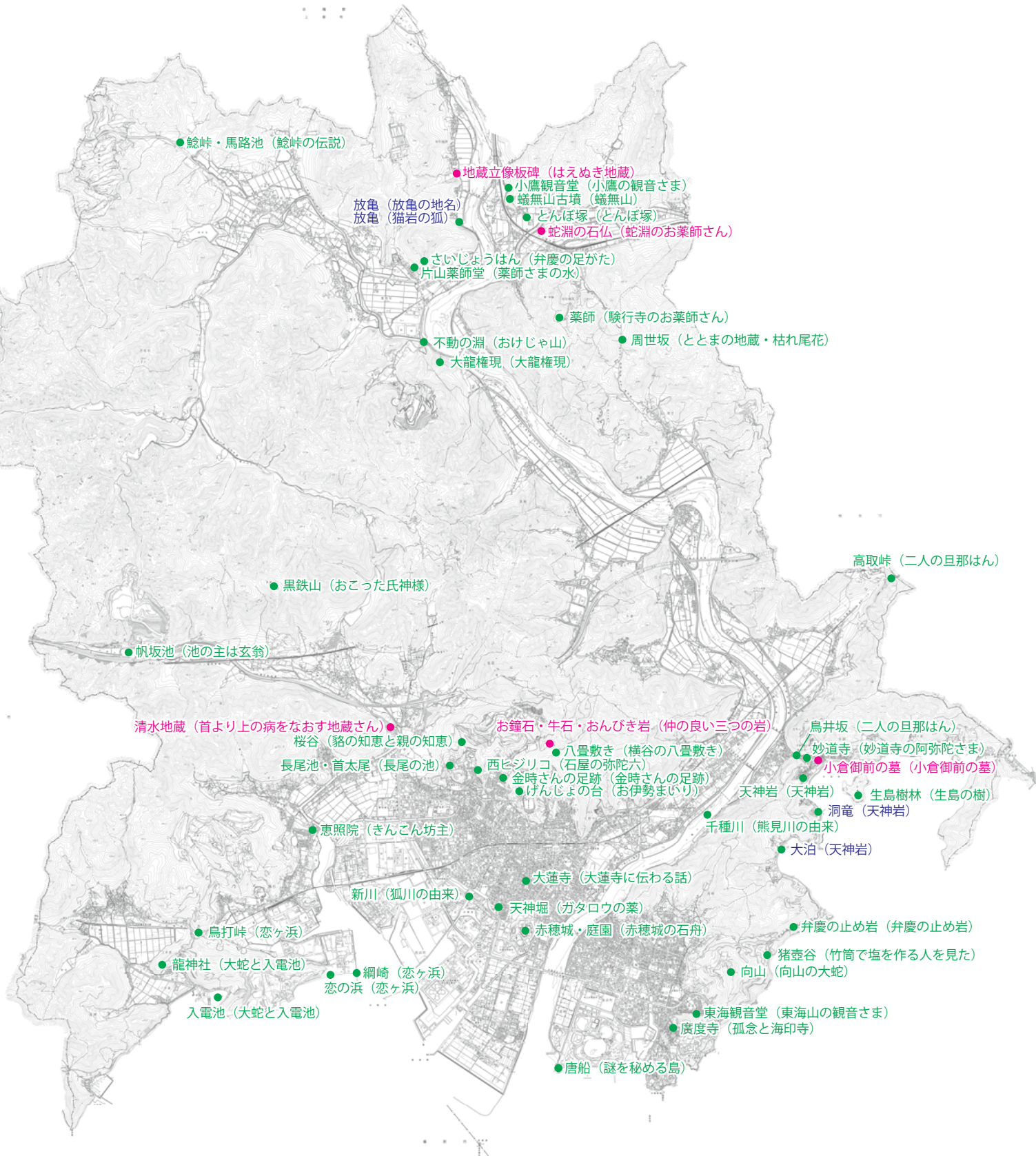
大蓮寺（大蓮寺に伝わる話）



妙道寺（妙道寺の阿弥陀さま）



入電池（大蛇と入電池）



項目は赤穂市教育委員会 1984・1985『赤穂の昔話』その1・2に記載の歴史文化遺産。( )内は昔話の題名。

